

PFAS 分析フォーラム

～水・食品・環境・材料中のPFAS 分析・管理を学ぶ～

PFAS 分析の最新動向に加え、ユーザーの皆様による取り組みや分析事例もご紹介する「PFAS 分析フォーラム」を開催します。

近年、世界各国で PFAS に関する研究が進み、規制の更新も加速する中、高感度・高精度な測定法の開発や、安定した分析体制の構築がますます重要になっています。本フォーラムでは、PFAS 研究・分析の最前線で活躍されているお客様にご登壇いただき、前処理や分析技術を活用した PFAS 研究・管理の取り組みや分析事例をご紹介します。

普段目にする機会の少ない、多様な分野における分析事例を一堂にご覧いただける、貴重な機会となります。さらに、講演者の皆様との情報交換の場もご用意していますので、ぜひご参加ください。

- **日時** 2025年 11月 14日（金）ビジョンセンター東京八重洲（定員 150 名）
10:00～17:00 ※17:00～18:30 情報交換会
セミナー開始時刻の 30 分前よりご入場いただけます。
- **参加対象** PFAS 分析に携わっている方、今後携わる予定の方、PFAS 分析用装置の導入や更新をご検討中の方
※ 競合製品を取り扱う会社および関連会社の場合、弊社の判断によりお申込をお断りする可能性があります。
- **参加費** 無料
- **受付終了** 11月 7日（金）12:00 まで
定員に達し次第締切とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

招待講演

- **廃棄物の処理・資源化過程における PFAS の排出制御に関する研究の紹介と今後の展望**
国立環境研究所 資源循環領域 倉持 秀敏 様
- **水質中 PFAS 44 物質の分析**
いであ株式会社 環境創造研究所 山本 潤 様
- **NOK における LC/MS を用いた環境負荷物質等の分析事例**
NOK株式会社 R&D 技術研究部 星川 恵美 様
- **食品中 PFAS 分析の信頼性向上に向けた実践的アプローチ**
一般財団法人日本食品分析センター 微量試験部 座間 俊輔 様
- **フードチェーン全体を俯瞰した食品安全の取り組み**
株式会社ゼンショーホールディングス グループ食品安全基準本部 佐藤 美峰 様



UPLC H-Class Plus / TQ-S micro



APGC イオン源

* 掲載順は発表順です。
* プログラムは予告なく変更される場合がございます。

PFAS 分析フォーラム

プログラム

10:00～10:10	開会のご挨拶
10:10～11:00	廃棄物の処理・資源化過程における PFAS の排出制御に関する研究の紹介と今後の展望 国立環境研究所 資源循環領域 倉持 秀敏 様 現在関心の高い PFOA 等の規制 PFAS について、廃棄物等の熱処理・リサイクル過程におけるそれらの挙動を明らかにする研究を紹介するとともに、規制 PFAS の前駆体である中性 PFAS（例えば、フルオロテトラヒドロフルオリン等）の挙動に関する研究を紹介する。また、PFAS 対策として今後必要な研究課題を概説する。
11:00～11:50	PFAS 法規動向およびウォーターズのトータルソリューション 日本ウォーターズ株式会社 マーケティング本部 シェリー チョウ PFAS に関する最新の規制動向に加え、サンプル前処理から測定までのトータルソリューション、ブランク汚染を防ぐためのヒント、さらに分析の応用例も併せて紹介します。
11:50～13:00	休憩 昼食は弊社でご用意いたします。会場へ飲食のお持込はご遠慮いただいております。 不要な方は近隣の飲食店等をご利用いただければ幸いです。
13:00～13:40	水質中 PFAS 44 物質の分析 いであ株式会社 環境創造研究所 山本 潤 様 EPA Method 1633 や ISO 21675 で対象としている PFAS 44 物質について、精度を確保しながら一斉分析を行う事を目的とし、水質試料をベースに分析方法を検討した。基礎データ取得や実試料分析を通して見えてきた課題と対応策、注意点などについて説明する。
13:40～14:25	NOK における LC/MS を用いた環境負荷物質等の分析事例 NOK株式会社 R&D 技術研究部 星川 恵美 様 PFAS をはじめとする環境負荷物質の定量分析は、製造業において優先度が高い事項です。合成ゴム関連メーカーとして、Xevo G3 QTof を用いた PFAS 等の定量分析について測定事例をご紹介します。
14:25～14:55	食品中 PFAS 分析の信頼性向上に向けた実践的アプローチ 一般財団法人日本食品分析センター 微量試験部 座間 俊輔 様 食品中 PFAS の分析では、マトリックス干渉やコンタミネーションが精度に大きく影響します。本講演では、国内外の食品等における PFAS 分析法を概説するとともに、干渉対策、ブランク低減策など、食品分析現場での具体的な実践例を交えながら、信頼性の高い分析結果を得るための技術的な取り組みについて紹介します。
14:55～15:20	休憩
15:20～16:00	フードチェーン全体を俯瞰した食品安全の取り組み 株式会社ゼンショーホールディングス グループ食品安全基準本部 佐藤 美峰 様 PFAS は健康を害する新たなハザードです。私たちはフードチェーンすべての段階において「食の安全」を追求し、食の安全の世界基準である Codex ガイドラインに基づいて実践しています。PFAS に対しても機器メーカー様、研究機関、行政と協働しながら対策を進める取り組みを紹介します。また消費者へのリスクコミュニケーションとして、ポジションペーパーの活用についても提言します。
16:00～16:50	理論と実践に基づいたウォーターズの PFAS 分析サポート 日本ウォーターズ株式会社 学術本部 佐藤 太 PFAS 分析における課題解決には、分析化学の理論と手技を含む実践に基づいた対策が必要です。PFAS 分析に潜む落とし穴を埋める一助となるように、ウォーターズが長年にわたり蓄積してきた技術と知見の一例を紹介いたします。
16:50～17:00	閉会のご挨拶
17:00～18:30	情報交換会

* プログラムは変更される場合もございます。

PFAS 分析フォーラム

会場のご案内

ビジョンセンター東京八重洲

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル 9F

TEL : 080-4379-2784

【電車】

JR 各線「東京駅 八重洲北口」徒歩 4 分
(八重洲地下街 16 番出口 徒歩 2 分)

東京メトロ 銀座線・東西線、都営地下鉄
「日本橋駅 (B3 出口)」徒歩 1 分



お申し込み手順

1. お申し込み 下記の URL もしくは右記の QR コードより
お申し込みページへアクセスできます。

bit.ly/PFASForum25

必要事項をご入力の上、お申し込みください。※1

2. 「仮登録」の E メールが届きます ※3

お申し込み後、即日送信されます。

3. 「本登録」の E メールが届きます

通常 5 営業日以内に通知予定しております。

お申し込み QR コード



※1 ご登録はご所属機関のメールアドレスをお願いします。
各種ご連絡のメールが届かない可能性がありますので、
携帯電話のメールアドレスは対象外とさせていただきます。
フリーのメールアドレス (gmail など) もご登録できません。
システムの都合上、同一メールアドレスで複数申込者がい
る場合、情報登録はお一人様のみとなります。
ご参加の対象外 (競合他社等) の場合、弊社の判断
によりお申込をお断りする可能性があります。
予めご了承ください。

※2 メールが届かない場合は
jp_info@waters.com または TEL:03-3471-7982
(セミナー担当) までお問い合わせください。

お問い合わせ先：日本ウォーターズ株式会社 セミナー担当 TEL : 03-3471-7982

日本ウォーターズ株式会社
www.waters.com

東京本社

〒140-0001

東京都品川区北品川1-3-12 第5小池ビル

TEL 03-3471-7191

大阪支社

〒532-0011

大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル11F

TEL 06-6304-8888